

(3) 非行防止活動事業

判定結果 改善

評価の趣旨

いじめ等の相談活動の対応方法については、SNSの活用により相談しやすい窓口をつくるなど、当事者の視点に立った方法を検討する必要がある。また、補導活動は、地域の実情や非行の現状に合わせた対応方法を検討するとともに、学校と連携して、その在り方を考えることも必要である。

その他の意見等

- ・ SNSを活用した相談しやすい窓口を検討してはどうか。
- ・ 子どもたちが外出している機会が減っている中で、非行の現状に対応した補導の在り方を考える必要があるのではないか。
- ・ 外部委託や学校との連携など、予算をかけずにうまく周知する方法を検討してほしい。
- ・ 各事業を実施している団体との関係や構造的な問題を見直すことも必要である。

(4) 少年教育推進事業

判定結果 改善

評価の趣旨

子ども会・育成会の担い手の育成方法を検討してほしい。また、子ども会を活性化させるために、学校や自治会を始め、コミュニティ協議会などの他団体と協力し、より効率的で効果的な運営・実施ができるよう検討が必要である。

その他の意見等

- ・ 子ども会運営が保護者にとって負担となっている中、子ども会を今後活性化させるために、コミュニティ協議会と連携するなど、地域ごとで考えてもらう必要がある。
- ・ 働く女性が増えてきていることもあり、子ども会の担い手が不足している現状を踏まえた課題解決に取り組んでもらいたい。